

## 木酢液について！

### 【医薬品の認定について】

医薬品として認定することは非常に非現実的です。

医薬品とするには、常にある一定の厳密な濃度、成分、等々を維持する必要があるのですが、この木酢液は窯から出る煙から採取するものであり、よって、一窯々の火力、燃焼時間、原木の量、窯出しのタイミング等、一言で言えば一窯々全て違うわけです。

それを一定の純度に保つには全てを集合する施設が必要であり莫大な費用を要します。又、医薬品を認定する試験も約7億円位の費用を要するとされ、それらのリスクを考えると現実的ではありません。但し、皮膚炎や猫の糞害、農業用、等に使われるにはそれほどの厳密性は要しないと解します。

### 【インターネットの掲載について】

木酢液の効能として「アトピー性皮膚炎」や「体を温める」等の効果を記載したいのですが、インターネットの擬制商品が多く出回る昨今、「効果、効能」若しくは「疑わせるような表現」が「薬事法」によって厳しく規制されています。よって、詳しく表現出来ないのが現状なのであります。

### 【皮膚炎に使用される場合】

効き目はあります。但し、患部の状態、体質、年齢、によって濃度、使用回数などを決める必要があるでしょう。お風呂で体を温める目的に使用する場合は、一般にコップ一杯とされています。（但し、排水口が若干汚れる可能性あり）この入浴によって皮膚炎が完治される方も多いです。

症状がひどい皮膚炎で直接塗る場合は、目立たない患部から濃度等を試して下さい。当社の木酢液は濃度が高いので注意して下さい。以前、近隣の高校生の方でどうしても薬では「アトピーが治らない」との悲痛な声があり、一日2回朝晩原液を塗ることをお勧めしたところ、3ヶ月後にはきれいに完治し、お礼に来られたと言う実例もあります。

### 注意！

木酢液は、自然の物であることから、確実な分析データを得ることが非常に困難であります。よって、ご使用に当っては使用者の責任のもと御利用下さい。

お子様自身には、使用させないで下さい。

## 身体に使用される場合！

木酢液は、薬では有りません。昔から使用される自然の溶液です。基本的にはご自身合った、使用方法是ご自身によって決めるものですが、皆さんが使用される一般的用法を参考までに下記に記載致します。

基本的には、 症状、 体質、 年齢、 木酢液を薄める倍数、 塗る回数/日、 等により症状に差が出るものです。

### ■ 使用される用途

アトピー、皮膚炎、あせも、かぶれ、水虫、入浴時の保温、等です。(順位不動)

### ■ 方法や量

成人の方は、薄めずに直接その部分に塗ります。但し、皮膚の弱い方やアレルギー等が予想される方は、5倍程度に薄めて、体の目立たない箇所から綿や綿棒、等を用いて先ず試して下さい。

炎症が起こらなければ、除々に濃くして下さい。概ね、一ヶ月もすれば判明すると思われます。

塗る回数は、一日3～5回程度。その部分をきれいにしてから塗ります。

勿論、身体に悪い反応が起これば中止してください。

木酢液とは、自然の物ですから環境にはやさしい品ですが、小さいお子様等には扱わせないように十分御注意ください。

#### [ 水虫の場合 ]

足が入る程度の洗面器に水を入れ、その中に水虫の足を入れます。その中に木酢液を除所に注ぎ入れ、患部に刺激を感じるところでストップ。5分程度つけて一回目は終了です。洗面器の木酢液は、そのまま三日程度は利用できるでしょう。夏は早めに取り替えたほうがいいでしょう。洗面器には、沈殿物が発生しますが特に有害物質ではありません。水との化学反応です。

木酢液の入れる量は、日にちと共に増やしていくほうが良いですが、原液は強すぎる場合がありますので注意して使用して下さい。

## 【 重 要 】

1. アトピー等は、羽毛布団(動物の毛はアレルギーを起しやすいです)をやめ、たんの裏、等のホコリを取り除くことが先決です。
2. 重要なのは酸度(PH値)であり、どれぐらい酸が強いからです。PH3以下が良いでしょう。当社の商品はPH3以下を確約します。